

トマトキバガに注意！

令和5年7月、トマトキバガを宮城県で初確認

県内での被害は確認されていませんが、**他県**では**トマト**で**果実の被害**が報告されています。トマトでは**大きな被害**をもたらす場合があります。その他、**なす**や**ばれいしょ**など**ナス科の作物**へ被害をもたらします。

被害の特徴

葉（トマト）



- ・葉の中に潜り込んで食害
- ・表面を残して**袋状**
- ・ハモグリバエよりも**幅広い**食害痕



ハモグリバエの被害葉（トマト）
・線状の食害痕

（原図）宮城県農業・園芸総合研究所

果実（トマト）



- ・果実内部に侵入し食害
- ・**表面に数mmの穴**
- ・食害部分が腐敗

（原図）岩手県病害虫防除所

発生が疑われる場合には連絡を！

疑わしい被害や虫を見つけたら、速やかに病害虫防除所又は最寄りの農業改良普及センターへご連絡ください。

➡ 宮城県 病害虫防除所 022-275-8960

トマトキバガ *Tuta absoluta* (Meyrick)

寄主植物 トマト、なす、ばれいしょ、トウガラシなど

生態 1年間に複数回の世代が発生し、繁殖力が高い。

成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れています。

成虫



- ・体長は約**5~7mm**
- ・前翅は茶褐色に黒色鱗粉が散在

(原図) 岩手県病害虫防除所

幼虫



- ・体長は終齢で約8mm
- ・体色は乳白色~緑白色、淡いピンク色など
- ・前胸に黒色横帯

対策

- ・トマト・ミニトマトではトマトキバガに対して**登録のある農薬を使用**してください。
- ・トマト・ミニトマト以外では**登録農薬はありません**。
- ・食害された果実等を発見した場合は、次世代の発生源となるので、**速やかに除去**してください。

トマト・ミニトマトで登録のある主な農薬（令和6年5月15日現在）

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用回数	散布液量/10a	IRAC
ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	100~300L	5
アファーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	5回以内	100~300L	6
コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	100~300L	13
フェニックス顆粒水和剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	100~300L	28
グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	100~300L	30
プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	100~300L	UN

※他の登録農薬については最新の登録情報を確認してください。

発行：宮城県病害虫防除所（令和6年5月）

(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/>)

